



次世代情報システム検討分科会

【年間活動テーマ】2030年のキャンパスシステムを創造する

第1回WG活動報告

日 時：2018年10月12日(金) 13:30～17:00
 場 所：富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター大阪 スタジオA
 出席者：30名
 研修テーマ：「RPA適用検討ワークショップ」

1. 研修内容

5月30日に開催した2018年度第1回分科会（テーマ：RPAで大学業務は軽減できるのか？）において、大学が期待するRPAの導入や利活用についてワールド・カフェを行いました。今回のWGにおいてはRPAの適用業務やより具体的な利活用シーン、課題等についてさらに議論を深めることにより大学におけるRPAの可能性を探求しました。

2. スケジュール

13:30～13:35 全体会
 ・本日のWGについて

13:25～14:15 RPAの概要と適用の勘所
 富士通株式会社 公共地域営業グループ
 デジタルビジネス戦略推進統括部 ビジネスイノベーションセンター
 アシスタントマネージャー 高本 茂 様

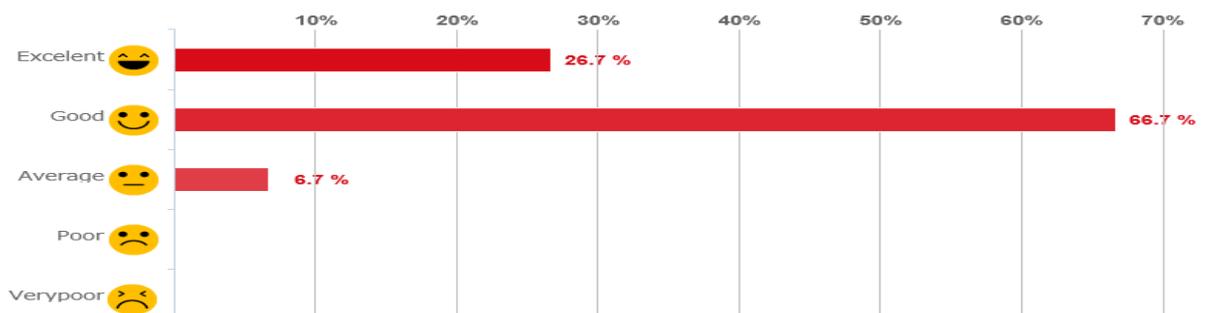
14:15～14:30 休憩

14:30～17:30 RPA適用検討ワークショップ

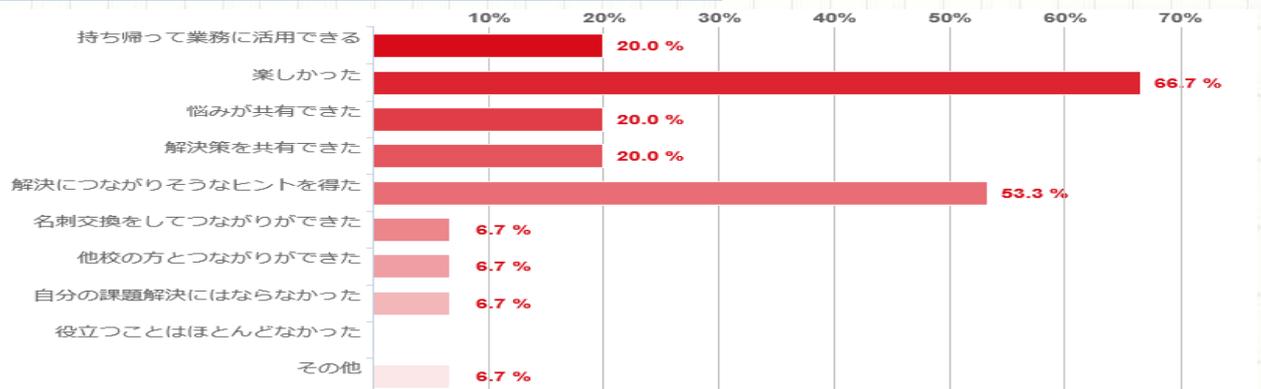


3. アンケート結果【回答率94%】（回収数15/16） ※総数「16」はご講演者、富士通を除く

【Q1】今回の分科会についてお答えください。



【Q2】それはなぜか理由をお答えください（複数回答可）。



【Q3】今回の分科会に関するご意見・ご感想があればご自由にご記入ください。

- ・能動的なワークショップができました。時間配分も適切と感じました。
- ・RPAの適用業務を検討するポイントを把握することができました。実際に自分の業務にあてはめられるよう、今後検討していきたいです。
- ・新しい利用法アイデアまでは得られなかったが、楽しく受けさせていただきました。ありがとうございました。
- ・RPAの理解に繋がった
- ・ファシリテーションが最高でした
- ・ワークショップではもう少しRPAに関する議論や意見交換をしたかった
- ・時間を短く感じました。非常に良いテンポでした。
- ・ワークによって自分の考えが整理できたのは良かった。他大学の意見を聞いて良かった。
- ・テンポ良く進んだことでアイデアが出しやすかった。
- ・RPAの勘所のヒントを得ることができた。
- ・ぼんやりしていたRPAがややはっきりしてきた
- ・大学によってRPA活用シーンは異なるものの何より利用できそうなシーンはイメージできました。
- ・様々な意見を引き出す効果的なセミナーでした

【Q4】今後、分科会で扱ってほしいテーマや、施設見学・事例・ワークショップなど内容についての案やご意見がありましたらご記入ください。

AI、自動化等、事務作業の簡素化、効率化となるテーマを取り扱っていただくと嬉しいです。
会場を見学させていただき参考になりました。
チャットボット
デジタルネイチャー
働き方改革にITをいかに活用していくか
RPAの体験版が欲しいです。部署で試して、他部署に展開したい。
未来志向システムをもっと知りたい(今日のカードにあったもの)
Leaning Analytics

【Q6】C S 研の運営や活動等に関するご意見やご感想がありましたらご記入ください。

- ・また機会がありましたらよろしく願いいたします。

4. 参加大学 [12大学校14名] ・賛助企業[2社16名]・参加総数30名

関西国際大学	[1]	芝浦工業大学	[1]	東海大学	[1]	チエル株式会社	[1]
関西大学	[1]	順天堂大学	[1]	日本福祉大学	[1]	富士通株式会社	[13]
京都産業大学	[1]	常翔学園	[2]	龍谷大学	[2]	事務局	[2]
神戸学院大学	[1]	常翔学園摂南大学	[2]				

5. 所感

今回のWGはRPAの適用業務、より具体的な活用シーンや課題等について参加者皆さんにて意見交換を行いました。150分にとりかかるワークショップ、各グループともに模造紙に貼られた沢山の付箋紙が印象的でした。次回WGはRPAのハンズオンを行います。多くの皆さまのご参加お待ちしております。